晴耕雨読58

発行：株式会社　建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・地質調査 解析・測量全般・
・補償コンサルタント登録
〒869-1234　【※本社が北区弓削に移転しました】
熊本県菊池郡大津町引水 215-1（技術研究所）
本社：熊本市 / 八代支店 / 合志営業所
TEL：096-293-4400/FAX：096-293-4885
E-mail：kenpro@muc.biglobe.ne.jp

Vol.58　Sep　2020　seikouudoku

ツノマガリ

【薩摩の大提灯・肥後の鍬形（くわがた）】
熊本県人の気質を現した言葉の一つ．薩摩国では，強力な指導者が現れた際には皆が一丸となるが、肥後国では各々が兜をかぶり大将気取りで一致団結することなく，事が成熟しないという意味．

熊本南部豪雨により，被災された方々に心よりお見舞い申し上げます．一日も早く平穏な生活に戻られますことをお祈り申し上げます．

7月４日球磨川増水に耐えた中谷橋

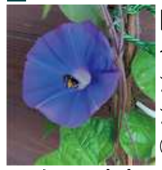
（日本道路公団施工）

昭和５７年（1982 年)，中谷橋の下部工と両岸の国道 219 号と村道拡幅工事等を担当．特に、右岸側の混合擁壁の水中コンクリート打設，鋼矢板締切、費用負担協議等に苦労したのを思い出しました．h/n

船場橋業務表彰

宇土市より令和 2 年 8 月 20 日業務表彰を受けました．熊本地震で被災した船場橋を調査・計画・設計及び工事監理と 3 年にわたり関わりました．伝統技術が評価され表彰を受けたことは名誉なことでもあり，今後も地域に社会貢献できるよう努めます．　　　CPC 一同

地上の朝顔と鉢植えの朝顔



３年目の朝顔

昨年のアサガオの種が竹垣の周辺に沢山見られた．そこで，①地上で根を張った朝顔．②空鉢に移植した朝顔を観察．①･②ともに，ほぼ同じ時期に咲いた．①は地球に根差した分、勢いがあり花数も多い．②は鉢に植えられた空間ゆえに花数も少ない．過保護よりは自然に任せるのが良いのかな．h/n

【大賀ハス】
宇土市役所の玄関にダイナミックな花を咲かせていました．2 千年以上前の地層から見つかった実「種」が元になったそうです．発見した大賀一郎氏に因んで名付けられたそうです．h/n

重

私たちの暑さ対策（～夏を乗り切る努力編～）

Recommended Spot

熊本市上水道発祥の地（八景水谷）

連日新型コロナウィルス感染拡大の報道．災害級の猛暑が続く例年以上にヤバい夏．なんだか気が滅入ることばかりです…．不要不急の外出は極力避け，食料の買い出しのついでに熊本市の北部にある八景水谷公園に寄ってみました．この八景水谷公園は，第5代肥後藩主細川綱利公によって開かれた公園で，熊本市上水道発祥の地です．上質な湧水を誇る水源地があり，その水の美しさは熊本名水百選の一つ。豊富な地下水・美しいサクラ並木は熊本市北部の花見の名所。また、夏の蓮花もきれいです．i/o

熊本城ホールで開催されているミイラ展へ !!
ミイラと言えば，エジプトのツタンカーメンくらいしか思い浮かばない私ですが，ヒンヤリと 25℃湿度 50％に管理された展示室へ入ると，何とも言えない空気感がありました．ミイラとなった人が生きていた時代や歴史的価値を知り，棺に描かれた絵の色の鮮やかさに驚きました．t/b

■JR 豊肥本線4年ぶりに全線開通！★★

熊本地震から約 4 年経過した 2020 年 8 月 8 日に豊肥本線が全線開通しました．地震前は当たり前のように通っていた電車が久しぶりに通り，プラレールにドはまりしている長男だけではなく，私も童心に帰り必死に車掌さんへ手を振ってしまいました．私が幼少のころは SL あそぼーいが通っており，何度見ても心踊らされた記憶があります．旧あそぼーい（現 SL 人吉）が運航している肥薩線は，令和 2 年 7 月豪雨で被災し復旧には多くの時間を要します．早期復旧に向けて微力ながら協力し，息子と SL 旅に出ることが目標です．k/n

夏はやっぱりココだな

天

南阿蘇村には多数の水源がありますが，日本名水百選にも選ばれた白川水源に散歩に行きました．日中気温が高くても白川水源は森の中にあるためとても涼しいです．水に入って遊べるところもあり，小さい頃の思い出が蘇ってきました．最近は徐々に人足も戻ってきたようです．近くに来た際は立ち寄り涼まれてはどうでしょうか．t/k

今年はゆる～く，子どもの夏休みが始まり，花火や祭りの音が聞こえない不思議な感覚の夏でした．そのせいか ?? 通勤道に咲くヒマワリに足が止まったりと，改めて熊本の自然豊かな日常の風景を楽しむことができた気がします．t/b　with コロナ…

身近な環境への思い（見る・食べる・楽しむ）

Human Architectur

・・きゅうりプロジェクトの成果・・

GWのキュウリプロジェクトは，なんとか 6 本収穫できましたが，ベト病等にて枯損したため高額なキュウリとなりました．春の植木市で植えた「山椒」は，今回で 4 本目になりますが，またしても全葉をアゲハチョウの幼虫に食べられ枯損すると思われましたが，新芽が出てきたのでネットで予防保全対策を試みているところです．この小さな苗木をどこからともなくリサーチするアゲハの蝶能力を感じました．「来春の筍に和えたいな．大きくな～れ！」a/t　Yummy!!

変わりゆく二重峠（熊本地震からの復興近し）

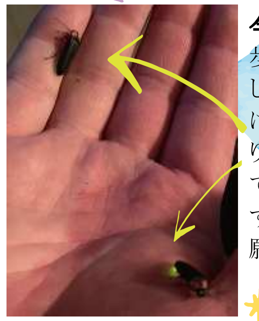
昔から阿蘇カルデラの入口として、先人達から地理的に重要視され、利用されてきた二重峠．加藤清正公が豊後街道として、参勤交代等に使用しました．峠越えは時代と共に、地表面の道路改良から地中へと益々進化しています．現在、トンネル取付け道路も含め、10 月の開通に向けて最も熱い場所となっています．熊本地震から 4 年を過ぎ，復興しつつもいた阿蘇地方が JR 豊肥線の復旧に続き国道2路線（国道 57 号北側復旧ルート及び 57 号現道）の同時開通で一気に何かが動き出すことが予感・期待されると共に，九州地方や熊本都市圏と阿蘇地方が何より身近な存在になり，交流促進されることで求められる地域の役割も見えます．b/i

見

【無寒暑「むかんじょ」】
「暑さ寒さも彼岸まで」慣用語の通り、気持ち次第だ、という時代ではないですね．熱中アラートが毎日のように発令されています．皆様ご自愛ください．

最近のコロナ騒ぎで，高速バスを利用しにくくなり，自家用車の移動が増えました．目の位置が下がったせいか，沿道の笹百合が増えたような気がします．わが家の庭にも今年は1ダースほど．涼しくなり，風が種を運んだあと，玄関の壺に移動予定です．m/t

少し前の話ですが…蛍



今年の 5 月初めに実家（合志市）から徒歩 3 分の水路に無数のホタルが飛んでいました．コロナの影響で自粛中でどこにも行けない状況で唯一の癒しスポットが近場にあり，近所からも沢山の親子が癒されに訪れていました．今現在もコロナの影響がありますが，早く終息し，元の生活に戻ることを願うばかりです．n/a

夏の森林浴♪♪♪

左写真は，現在の八代市道で旧坂本村日光線の管理が行き届いたきれいな道です．この市道は，元々今の路面から 15m 下にあり、高速道工事で発生した土を渓流に埋め立てた際に付け替えた道路．路面横の刈りとられたのり面（視界良好）と桜は，この先にある日光集落の住民が管理．建設に関わった者の一人として素晴らしいと思います．h/n

身近な土木文化への思い（グリーンインフラを考える）

Civil Engineering

■道路災害（ブロック積）

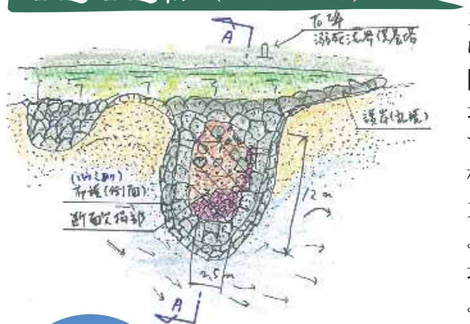
本年 7 月豪雨災害では九州で多数の線状降水帯が発生し，特に熊本県南地域を流れる球磨川等の氾濫により，堤防決壊や道路・橋梁の流失，家屋浸水等の広域的な被害が発生しました．現場では，被災した道路構造物の被災要因や復旧工法を判断するため，机上で判断できない重要箇所や留意すべきポイントを現地で着目し，対策工を選定する技術的判断が重要となります．災害情報発信の充実と防災体制の強化を図る中で，行政主体でなく地域住民が防災意識を高めて自主的に避難し，逃げ遅れをなくすことが重要です．また，避難所におけるウイルス感染症発生など複合災害へのリスク対策が今後のおおきな検討課題と考えます．t/m

出典：国土地理院

■球磨川洪水被害に寄せて

左記は県南地域（人吉）の洪水地域を表した国土地理院地図です．球磨川は水害の多発地帯でありますが，青井阿蘇神社周辺の電柱には過去の洪水水位が，昭和 40 年（2.3m)，昭和 46 年（1.1m）と記載されていました．今回の洪水痕跡跡は 4.0m を超えていました．各人が防災意識，災害リスク等を共有し，自助・共助・公助による防災対策の役割を明確にすることが重要だと考えます．k/s

石造石造物（石刎・石碑）



浜土川は，嘉永年間に今の緑川ができるまでは，宇土城下や川尻御蔵などへの重要な舟運の場所．昔から河口域も含め，住民らの生活や財産等を守るため堤防を築き，その背後に田畑をつくり経済力を得てきた．堤防が崩れると浸水被害が生じる．少しでも強く，そして水を上手くコントロールする左スケッチの石刎を考え構築．今でも同川左岸に見られる石刎，石材一石の大きさは約70cm内外、石を割った矢の跡がみられる．よく観察すると刎に当たった水は川の中央へ流れる．増水時は川の真ん中が凸型に盛り上がる．
よく考えた伝統工法．すばらしい !!　h/n

日

【浜土川下流域で見かけた津波（溺死）石碑】
浜戸川左岸下流域の堤防にひっそりと「寛政の津波」の右スケッチの石碑があります．寛政 4 年（1792 年）島原眉山の崩壊（島原大変、肥後迷惑）で有明海岸線に甚大な被害（熊本は 5,000 人）との記録あり．石碑の傍に，寄り添った百合の花が咲いていました．h/n

■ 後記：熊本地震から 4 年経過。復興への足跡が確実に見えて来た．国道 57 号線北側ルートの 10 月開通予定と豊肥線 8 月 8 日開通．これらの社会インフラは，復興のシンボルであり，命の道でもあります．今後も皆さんへ「地域復興」を中心に紹介してまいります．
【スポーツ会では，プロ野球・サッカー・大相撲をはじめ甲子園・総体等が中止となった．今しばらく我慢して必ず体と心の糧に．今後に必ず活かされます！】